

令和7年東成瀬村議会定例会（第5回12月定例会議）行政報告

第5回12月定例会議に当たり、第4回9月定例会議以降の村政の報告と今後の運営方針について申し上げます。

（総務課所管）

1 元職員による不祥事について

本村元職員による公有物窃取の不祥事につきましては、改めて衷心よりお詫び申し上げます。

調査委員会による最終的な被害額が確定し、今後の求償事務等について、顧問弁護士の指導・助言を受けながら元職員の弁護士と協議を重ねてまいりました。それら一連の内容を、今定例会議中に御説明させていただきます。

2 秋の叙勲について

令和7年秋の叙勲において、前村議会議員の鈴木秋雄氏が、旭日双光章の栄に浴され、11月5日に県正庁で勲章が伝達されました。

永年にわたり地方自治の発展に御尽力いただいたことに深甚なる敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます。

3 中央要望会について

11月6日と7日、村と村議会合同で中央要望会を実施しております。国会議員及び国土交通省・総務省・財務省・内閣府の幹部職員を訪問し、地方交付税の拡充、過疎対策事業債の充実、成瀬ダム建設事業の促進、雪対策経費と有害鳥獣被害防止対策に対する支援の要望を行ってまいりました。

4 全国町村長大会について

11月19日、東京都渋谷区NHKホールにおいて、全国町村長大会が開催され出席してまいりました。大会には、全国926の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の高市内閣総理大臣、額賀衆議院議長、関口参議院議長、林総務大臣、中本全国町村議会議長会会長など約1,300名が出席しました。

今大会では、政府に対する特別決議1件、通常要望35項目、重点要望13項目をそれぞれ採択しております。詳細につきましては、全国町村会ホームページで御確認願います。

5 令和8年度当初予算編成方針について

令和8年度当初予算は、中長期的な財政健全化の取り組みを継続しつつ、課題の解決に向けて、引き続き国・県の施策等と連動して取り組んでまいりますが、村長選挙にあたるため、義務的経費のほか、移住定住対策や子育て支援など継続性のある事業予算を除き、骨格編成を基本方針としております。

6 一般寄附金について

10月28日、明治安田生命保険相互会社秋田支社湯沢営業所様から70万5,100円の寄附金を採納しております。主に健康づくりや子育て支援のための財源として有効に使用させていただきたいと考えております。

7 職員採用試験の状況について

本年度における一般行政職採用試験は、1回目、2回目ともに大学卒区分で1名ずつ合格しており、いずれも内定通知を送付し、現在のところ2名とも採用を承諾しております。

また、3回目の採用試験には高校卒区分で1名、今年度より実施のキャリア枠で1名の応募がありましたが、いずれも合格には至りませんでした。

8 第37回首都圏なるせ会総会について

11月9日、東京都台東区の浅草ビューホテルを会場に、第37回首都圏なるせ会通常総会が開催されました。今回の参加者数は、87名で昨年より18名少なく、今後も減少傾向が続くと予想されますので、役員会と協議しながら会員数・出席者の増加に向けて取り組んでまいります。

9 クマによる人身被害について

村では、近年の異常出没を受け、昨年4月に東成瀬村有害鳥獣被害防止対策協議会を設立し、関係機関との連携強化、箱わなの増設など対策強化に取り組んでまいりましたが、10月24日、田子内地区においてツキノワグマにより、4名の方が死傷という大変痛ましい人身被害が発生しております。亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、負傷された皆様と御家族の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

発生当日の夕刻に対策会議を開催し、消防団や防犯指導隊の協力による緊急パトロールを実施するとともに、11月4日には警察、消防署、猟友会、消防団、防犯指導隊及び地区代表者による緊急会議を招集し、今後の対応策など情報共有を図っております。

また、秋田県知事の要請により、11月12日と27日の二日間、自衛隊が

派遣され、箱わなの設置・撤去等を実施していただきました。

なお、緊急的なクマ対策の補正予算については、11月7日付けで専決処分を行っております。

10 東北電力ネットワーク株式会社による事前伐採について

田子内字桶清水地内において、昨年10月8日に村と東北電力ネットワーク株式会社とで締結した「災害時の協力に関する協定」に基づき、倒木により停電や道路寸断を発生させる恐れがある支障樹木を伐採する事前伐採が行われております。今後も、こうした事前防災を進めてまいります。

11 消防防災関連について

10月31日、岩井川字東村地内で火災が発生し、住宅と倉庫は全焼しましたが、人的被害や隣家等への延焼はなく、被害は最小限に抑えられました。

今後、より一層の火災予防を呼びかけてまいります。

また、11月27日に防災情報センターにおいて自主防災組織研修会を開催しております。今回は、秋田地方気象台職員を講師にお迎えし「キキクル」などの利活用方法の紹介や、令和8年出水期に予定されている新しい防災気象情報に関するご講話を頂きました。

(企画課所管)

12 第6次東成瀬村総合計画について

第6次総合計画につきましては、12月定例会議での議案提出を目指し作業を進めてまいりましたが、計画内容の精査に時間を要し、進捗が当初予定より遅れています。

今後のスケジュールとして、議員の皆様に、現時点の基本計画案を今定例会議中に説明申し上げ、その後、むらづくり推進委員会やパブリックコメント等を通じて広く意見を募り、最終案を3月定例会議へ提出する予定しております。

13 ふるさと納税について

10月末現在、寄附件数は1,455件、寄附額は1,021万8,000円で、前年同期2,035万2,000円の約半数にとどまっています。

これは、寄附の約半数を占める米の返礼品において、令和7年産米の価格が不透明であったため、新米の先行予約や定期便の取扱いができなかったことがあります。米の確保に努めておりますが、十分な数量は確保できておらず、今後も厳しい状況が続く見込みとなっております。

一方、米以外の返礼品は好調で、いぶりがっこやあずきでっちなどが人気となり、米を除いた寄附額は前年同期を約270万円上回っています。年末に向け、新規返礼品の追加や周知の強化を図り、引き続き農産物等の消費拡大と村のPRに努めてまいります。

企業版ふるさと納税につきましては、10月末現在で3社より250万円の寄附をいただいており、そのうち1件はマッチング支援を活用したものであります。今後も事業者と連携し寄附拡大に取り組んでまいります。

1.4 地域おこし協力隊事業について

12月1日現在、今年度の採用者は民間連携19名、雇用1名の20名で、活動中の隊員は民間連携43名、雇用5名の48名となっております。

9月着任した雇用隊員は、須川湖キャンプ場管理業務を経て、冬期間はスキーチャンプでの活性化業務にも従事する予定であり、今後の活躍を期待しております。

1.5 東成瀬村地域公共交通活性化協議会について

10月20日に本年度2回目の協議会を開催し、地域公共交通計画の進捗および素案について協議しました。委員からは、人口減少下においても「地域の足」を持続的に確保する施策が必要であるとの意見が寄せられました。

11月26日には、住民の意見を反映するためのワークショップを行ったほか、アンケート調査も実施しております。いただいた意見を踏まえ、年明けの協議会で協議し、3月中の計画策定を目指してまいります。

1.6 定住促進住宅建設事業について

岩井川地区で計画されている定住促進住宅については、9月1日に土地売買契約を締結し、所有権移転登記も完了しております。

一方、造成工事については、農地転用の手続きを進める中で、本年5月から規制適用となった盛土規制法の許可が必要となったことから、許認可に伴う資料作成や県の処理期間を考慮すると、工事が降雪期となり品質確保が難しいとの判断から、事業を来年度に実施する方針に変更しております。

1.7 秋田栗駒リゾート株式会社について

栗駒山荘は、11月3日をもって今シーズンの営業を終了しました。

本年度は、閑散期対策の宿泊割引等により夏季は前年を上回る売上となりましたが、8月の食中毒事故による営業停止、10月の天候不順・降雪などの影響により、最終的には売上が前年比11%、約2,000万円減、利用者数は

20%、約12,000人減となる厳しい経営状況となりました。

なお、食中毒事故による見舞金の支払いについては、完了しております。

また、ホテルプランは、人員不足により縮小営業を行っていましたが、11月13日から通常営業を再開しており、ジュネス栗駒スキー場は、12月20日プレオープン、27日グランドオープンに向け準備を進めています。

18 秋田栗駒リゾート株式会社経営改善に向けた施設の方向性について

同社における経営改善策の検討状況につきましては、8月18日の議会全員協議会で報告しておりますが、経営を最も圧迫しているホテルプランは、将来的にも赤字経営が続く見込みに変わりはなく、民間譲渡を含む民間活用の可能性など、今後の方針を今定例会議中にお示しする予定としております。

(住民生活課所管)

19 交通死亡事故抑止継続3,500日達成について

平成28年5月4日から継続している交通死亡事故抑止期間が、昨日12月2日をもって3,500日に達しました。

来年1月8日に防災情報センターにおいて、秋田県知事表彰及び県警本部長顕彰の表彰伝達式が行われる予定となっております。

なお、令和8年3月7日には村の最長記録である3,595日に並ぶことになりますので、一層の交通安全を呼びかけてまいります。

20 生ごみ処理機等購入費助成事業について

本年度新設した生ごみ処理機等購入費助成事業については、11月末現在で生ごみ処理機25件、コンポスト容器4件で合計29件の申請があり、助成金を交付しております。

(健康福祉課所管)

21 第52回東成瀬村社会福祉大会について

11月1日、地域交流センターゆるるんにおいて「第52回東成瀬村社会福祉大会」が開催されました。功労者表彰に続き、小中学生の意見発表や講演会が行われ、地域住民の皆様が安全・安心に暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指す大会となりました。

また、午後からは恒例のたすけあいチャリティショーが開催され、盛況がありました。

2 2 雪下ろし等支援事業について

要支援者世帯等に対する雪下ろし等支援事業につきましては、11月6日に各地区自主防災組織等の関係者と打合せ会を開催し、各事業内容についての協議を行っております。

同時に雪下ろし作業時における活動員の安全対策や配置状況の確認と空き家を含めた雪害等の情報提供を関係者にお願いしたところであります。

2 3 民生委員・児童委員委嘱辞令の伝達について

今年は3年ごとの全国一斉改選の年に当たり、11月27日に17名の方に12月1日付けの委嘱状を伝達しております。

今回の改選では、新任3名、再任14名となりました。民生委員・児童委員の皆様には地域の身近な相談役として、御活躍をお祈りいたします。

2 4 いのちを考える集いについて

11月28日、地域交流センターゆるるんにおいて「東成瀬村いのちを考える集い」が開催されました。秋田大学高齢者医療先端研究センター長大田教授による高齢者の認知症やうつ病に関する講演のほか、村昔っこの会によるアトラクションが行われました。

今後も東成瀬村のぞみの会をはじめ、関係団体との連携を図りながら、自殺予防対策に取り組んでまいります。

2 5 小児予防接種予診票のデジタル化について

子育て支援施策として、昨年夏より母子健康手帳アプリ「なるせすくすく子育てアプリ」を運用しておりますが、11月からは小児予防接種デジタル予診票機能が追加され、予診票をスマホ等で提出するサービスを開始しております。

本サービスの提供により、保護者の負担軽減、医療機関での接種間違い防止や事務負担の軽減にも効果が期待されており、今後も利用状況を確認しながら周知等を図るとともに、業務のデジタル化・効率化推進に努めてまいります。

(産業振興課所管)

2 6 水稲の作柄状況について

国が発表した10月25日現在の都道府県別作況単収指数によれば、秋田県は前年に比べてやや多い103%となりました。今年は総じて天候に恵まれ、前年以上にもみ数を確保できたことが要因と分析されております。

一方、JAこまちの報告によりますと、11月19日現在、本村の出荷契約

数量に対する出荷実績は 120.9% と、前年を大きく上回っております。また、一等米比率も 93.2% と、昨年の 88.7% を上回る状況となっております。7 月以降の渇水による影響が懸念されましたが、結果として、質・量とともにそれを払拭する出来秋となりました。

27 青果物等の状況について

夏秋トマトは例年並みの出荷量でスタートし、8 月下旬からやや減少したものの、9 月中旬以降は出荷量が増え、安定した数量での出荷となりました。「東成瀬産トマト」のリピーターが多いことや、競合する産地が不安定な出荷だったことから、単価は終始高値で推移しております。

リンドウは昨年同様、高温による病害虫被害等が原因で、出荷量、販売金額ともに前年を下回りました。また、天候や病害虫の影響を受けたイチゴ、インゲン、枝豆が出荷量・販売金額ともに前年を下回っております。

トルコギキョウは高温のため丈が短く開花するなどの影響があったものの、管理に尽力され、また、需要の高まりにより高値基調で推移したことから、出荷量、販売額ともに昨年を上回りました。

また、収量と品質が安定したきゅうりや、病害虫被害がなく株が順調に生長したアスパラガスについては、出荷量、販売金額が前年を上回りました。

近年、生産が異常気象に大きく左右される状況が続いておりますが、農業者の皆様のご尽力により、品質が向上し、あるいは販売額が増加した品目も多く、今後も更なる品質向上と生産拡大に期待しております。

28 産業祭・種苗交換会について

10 月 24 日と 25 日の 2 日間、村民体育館を主会場に第 58 回東成瀬村産業祭を開催しております。昨年に引き続き、村芸術文化協会の御協力により、横手市十文字町から仁井田番楽様、秋田市土崎から土崎港ばやし様の 2 団体をお招きし、会場を大いに盛り上げていただきました。また、ハチミツの採蜜体験や屋外での重機展示コーナーなど、新たな取り組みも実施しております。

今後も工夫を凝らしながら、来場者に楽しんでいただける産業祭を計画してまいりたいと考えております。

なお、農産物等の出品数は前年度に比べ 12 品減少の 180 点となりましたが、厳選された出品物は審査員から高い評価をいただいております。

また、10 月 31 日から 11 月 4 日まで湯沢市を会場に開催された「第 148 回秋田県種苗交換会」においては、本村から 2 名 1 団体が入賞されました。これは、本村の農産物の品質や加工技術が高く評価された結果と受けとめ、今

後も大いに期待しております。

2 9 有害鳥獣について

今年度のツキノワグマの目撃情報は、過去最高だった令和5年度を79件上回る161件、有害駆除による捕獲頭数は10頭増の26頭となっております。その他の有害鳥獣等の目撃情報は、イノシシ11件、サル22件となっております。

3 0 ポルシェピクニックIN栗駒について

10月19日、ジュネス栗駒スキー場駐車場を会場として、ポルシェピクニックIN栗駒が開催されました。

今回の開催は令和7年6月29日の開催に引き続き2回目となり、約70台のポルシェが来場したほか、屋台の出展もあり、多くの見学者で賑わいました。今後は、村のイベントとして定着することを期待しております。

(建設課所管)

3 1 建設関連事業について

本年度予定しておりました村の建設事業は、十二橋メンテナンス工事を残し、全て終了しております。

十二橋メンテナンス工事は、全面通行止めによる施工となり、皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、工事は順調に進捗し、12月の完成見込みであり、本格的な降雪前の通行を目指しております。

3 2 冬期交通対策について

今冬の除雪については、11月26日に防災情報センターにおいて除雪会議を開催し、除雪事業計画に基づいて実施することを関係者で確認しております。

常に豪雪を念頭に置き、除雪体制には万全を期し、冬期間における交通の確保に努めてまいります。

3 3 ジュネス栗駒カントリーパークについて

11月4日に今シーズンの営業を終了しております。利用者数は4,693人で、前年度と比較すると947人の減少となりました。

月ごとの利用者も年々減少しており、利用者数の増加に向け、関係者で協議してまいりたいと考えております。

3 4 成瀬ダム事業関連について

工事の状況は、9月30日に成瀬ダム管理庁舎建築工事がほぼ完了、11月18日には、堤体打設工事が完了しており、取水設備工事、管理設備工事は継続して実施されております。

令和7年度の成瀬ダム現場見学者数は、11月13日時点で1,533人、7月17日に開所した「成瀬ダムDX LABO」では、10月26日の閉所まで4,032人の来館がありました。ダム建設はピークを過ぎ、見学者数は減少しておりますが、ダムへの関心の高さが伺える状況にあります。

10月25日には「成瀬ダム秋の現場見学会 in 第58回東成瀬村産業祭」を国と村が共同で実施しております。

また、成瀬ダム水源地域ビジョンの策定に向けて、地域活性化のヒントを得る機会として、12月14日に横手市浅舞地区交流センターを会場に「第2回成瀬ダムダム活ミーティング」の開催を予定しております。

引き続き、成瀬ダム工事事務所と連携し、広報及び地域振興活動を推進してまいります。

本定例会議には、報告1件、人事案1件、条例案7件、予算案6件の計15件を提出いたします。何とぞ、全議案同意・可決くださいますようお願い申し上げます。（了）